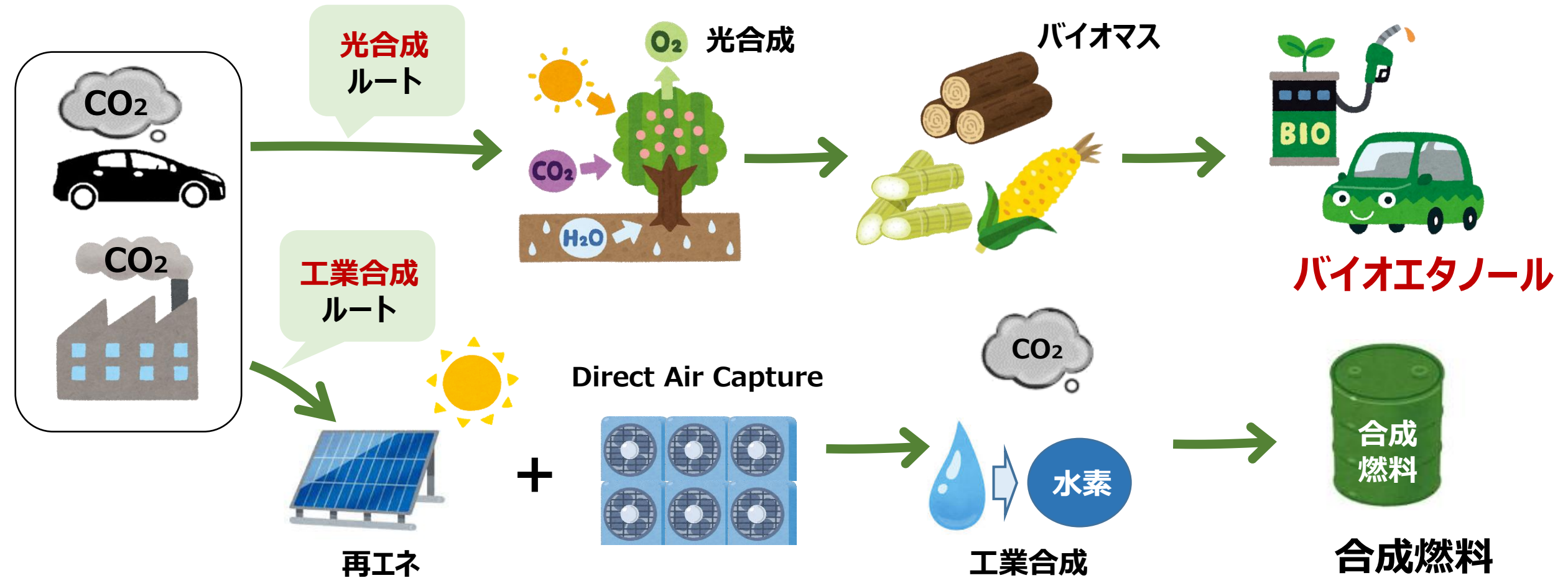


次世代グリーンCO₂燃料技術研究組合の 取り組み



カーボンニュートラル燃料とは



設立主旨と活動概要

- ・ バイオ資源や農業残渣等からバイオエタノールを製造し、カーボンニュートラル社会実現に貢献
- ・ 福島県内で活動を進めることで、復興活動へも貢献

原料をつくる

原料生産

24年度で研究開発完了

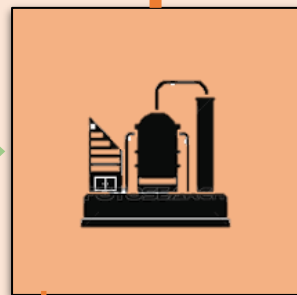


被災農地の営農再開支援



燃料をつくる

バイオエタノール製造



発酵
CO₂

合成燃料製造



水素製造



肥料

酸素

水素

燃料をつかう

カーボンニュートラル燃料

バイオ
エタノール

レース



公道デモ



箱根駅伝



<https://rabit.or.jp>

2022年7月1日設立



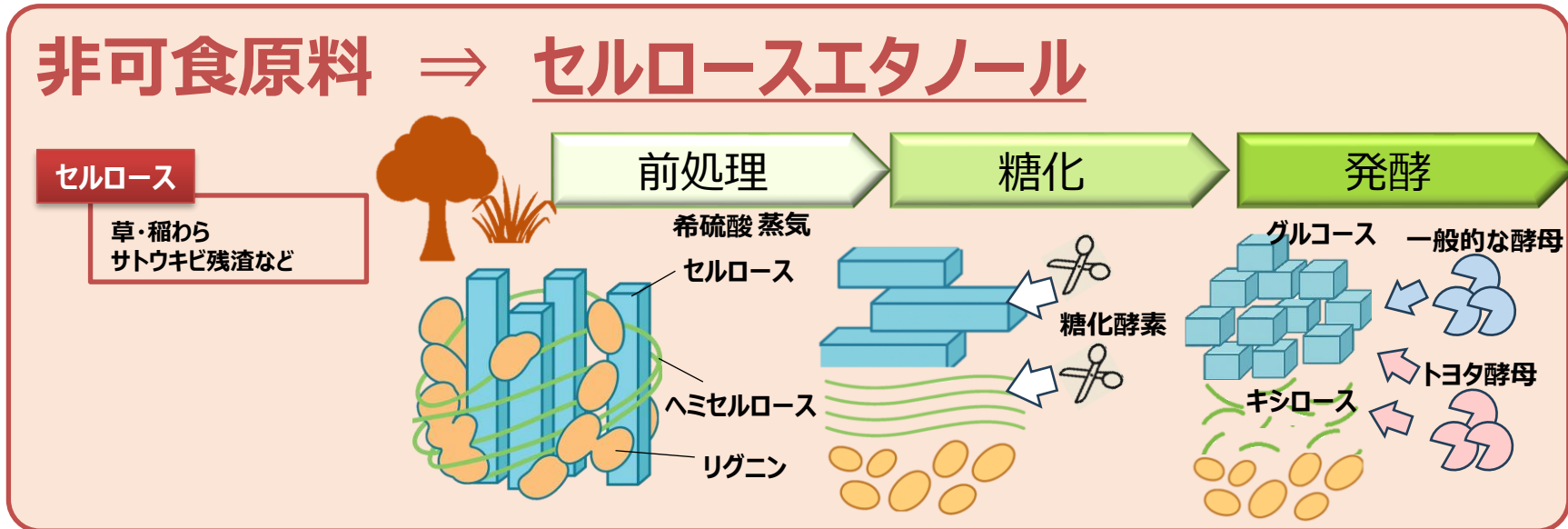
特別賛助員

賛助会員

2026/4 ご入会

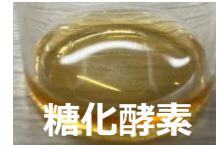
連携自治体

非可食原料からの生産効率化・低コスト化を研究



この図は、プロセスの流れを視覚的に示すための模式図です。

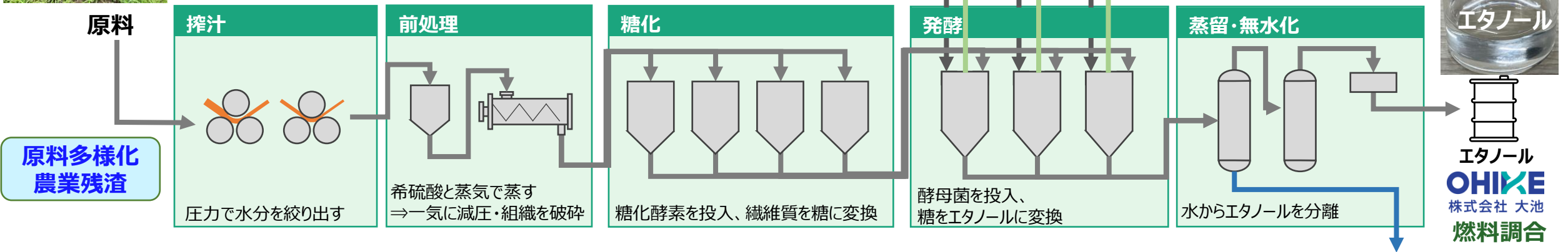
製造プロセス最適化



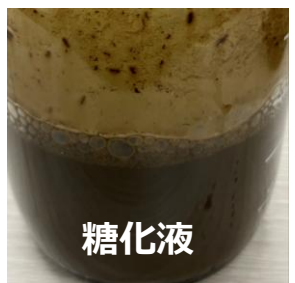
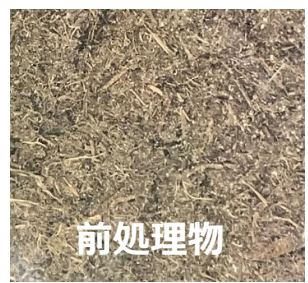
エネルギーマネジメント

回収CO₂活用

CO₂



原料多様化
農業残渣



残渣活用

エタノール製造 プロセス&収入源比較

	原料	前処理	糖化	発酵	蒸留・精製	収入源
可食原料 (1G)	サトウキビ 	糖 	不要	不要		エタノール 電気(バガス発電)
	トウモロコシ 	デンプン 	不要			エタノール RINクレジット (米国) DDGs (飼料) コーン油
非可食原料 (2G)	農業残渣、刈草 サトウキビバガス 麦わら、稲わら等 	繊維 セルロース類 				エタノール 副産物 (残渣)

コスト
集め方に依存

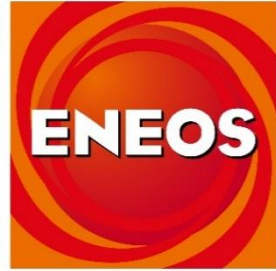
コストアップ↑
前処理工程が追加で必要

コストダウンの可能性あり
1G既存設備共用可能

収益性確保のために
残渣の有価値化が必須

福島県大熊町に生産研究事業所を建設 2024年11月竣工





セルロースエタノール
出荷

低炭素ガソリン
として調合

2025.8.8 公表
全日本スーパーフォーミュラ選手権



2025.10.13
公道デモンストレーション走行



2026.1.2-3
箱根駅伝



原料多様化



エネルギー作物



農業残渣



ワイン残渣



イナワラ



サトウキビバガス



アブラヤシ空果房



刈草



バイオエタノール



サトウキビ茎葉



<https://rabit.or.jp/>

各種活動につきましては、ホームページにも記載しております